

協会賞

『第56回 輝く! 日本レコード大賞』

TBS テレビ 太田 卓志



受賞者のコメント

この番組で受け継がれてきた伝統や賞の重み、厳かさを
守りつつ、建築上の条件を整理し尽くしたうえで、どこ
でオリジナリティを出していくか、特に舞台中央の
巨大な穴(せり)をどう活かすかがポイントだと
思いました。



受賞理由

生放送という制約の中、劇場の舞台機構を使った今までにない斬新な空間構成と、LEDに映し出される洗練されたグラフィック映像とが互いにステージ効果を高めている。権威ある番組の厳かで、かつダイナミックな空間作りを演出した美術に対して。

新人賞

日本テレビアート 渡辺 俊太



受賞者のコメント

担当するドラマの主要な舞台のイメージを得るために、
ずいぶん探しまわりました。これだと思うところがある
と、ロケで使うだけでなく、それを基にセット
を作り、それぞれのドラマにふさわしい世界を構築
してきました。



受賞理由

多種多様な番組ジャンルにも常に高い密度で対応できる非凡な表現力と安定感を持ちあわせ、将来のテレビ美術を牽引する存在として期待される。

特別賞

アサヒ植木装飾(株) 平山 登世子

受賞理由

約50年間にわたり“消え物”の第一人者として局を越えて活躍され、出演者からの信頼も厚い。
ドラマからバラエティ、報道・情報に至るまで数々の番組のテレビ美術を支えた功績に対して。

受賞者のコメント

いわゆる「消えもの」の担当ですから、ドラマなどで出演者が食べるものはもちろんつくり
ますが、それだけでなく、台所や食卓における作法などを聞かれることも少なくありません。
私自身が昔から鍛えられてきましたから。

